

石川の茶会ガイド2023

基本の作法・マナーがわかる！

ほっこり一服、
和のこころ。

味わう

発見する

学ぶ

県内茶会
44件掲載



令和
四年



おでかけ前にチェック! 基本の作法・マナー

茶会に出席したときに知っておきたいマナーを紹介します。
相手が礼をしたら、こちらもしっかり返すことを忘れずに。

基本の作法・マナーを動画で紹介しています▶



石川県 はじめてのお茶

その1 準備編

茶会への参加が決まったら、服装と持ち物をチェック。
判断に迷う場合は経験者に聞いてみましょう。

服装

洋服で出席しても構いません

茶席では多くの方が和服をまといます。しかし、茶道の経験がない人でも参加するような茶会では、洋服のまま気軽に参加してみましょう。ただし、スカートは膝丈であるのが望ましく、靴下は必ず履くようにしましょう。洋服のまま参加してもいいかどうか、事前に主催者に聞いてみるのも手です。なお、茶席に着くときは、腕時計や指輪などをあらかじめ外しておくのがマナーです。



持ち物

扇子、懐紙、楊枝を持参

茶会には扇子、懐紙、楊枝の3点を持っていくといいでしょう。扇子は主にあいさつの際に膝前などに置いて用います。懐紙はお菓子の“取り皿”代わりに使い、楊枝でお菓子をいただきます。



茶の湯はやわかり

茶の湯について、よくある質問にお答えします。

茶道のルーツについて教えてください

お茶を飲む習慣は中国からもたらされました。日本人が飲み始めたのは奈良時代ごろとされており、鎌倉時代に入ると薬として飲むのが主流になりました。

室町時代に「わび茶」の基礎を築いた村田珠光、さらに発展させた武野紹鴎らを経て、安土桃山時代に茶道を大成させたのが千利休です。茶道は日本の精神文化の要となり、今も受け継がれています。



多くの流派がありますが、違いは何ですか？

流派によって作法や道具に違いが見られますが、目指すところは変わりません。茶道にまつわる格言や心得を説いた言葉はいろいろありますが、茶道そのものを一言で表すと、「一服のお茶を通じて、亭主(もてなす側)と客(もてなされる側)が心を通じ合わせる」ということになるでしょうか。

亭主は「もてなしの心」を所作やしつらいついて表現しているのです。

作法を身につけるのは難しいのでは？

茶道には多くの作法があるため、確かに短期間では覚えきれません。ただ、それぞれの所作には必ず意味があり、平たく言えば亭主と客が心を通じ合わせるための「動き」を端的に表現しているのです。

また、茶道といえば「作法」だけに目が向きがちですが、それだけを学ぶものではありません。得られるものは人それぞれ。「お茶を楽しむ」という本来の目的を忘れず、気軽に試してみてください。



「これだけはおさえておきたい」作法を紹介します。
まずはベテランの所作を真似ることからはじめましょう。

せき いり たいしつ 席入・退室

とこ かけ もの はな いれ 床にある掛物や花入を拝見

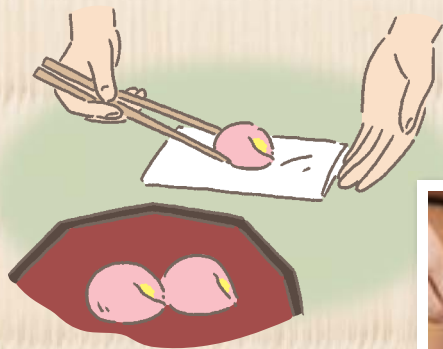
茶室に入ることを「席入」といいます。席入したら、まずは床にある掛物(掛軸)と花と花入を拝見します。拝見前は扇子を膝前に置いて一礼しましょう。また、敷居や畳のへりを踏まないように注意しながら、静かに歩くよう心がけてください。退室時も同様です。



①床と手の間に扇子を置きます



②手はついたまま、掛物、花入の順に拝見します



①箸を使って菓子器から懐紙の上に移します



②楊枝で食べやすい大きさに切ってからいただきます

お菓子のいただき方

おも が し 主菓子には懐紙と楊枝を使う

茶会では、菓子器に盛られたお菓子を順番に受け取っていきます。その際は、自分の次に待つ客に対して「お先に」と一礼してから懐紙を取り出して膝前に置き、主菓子は箸を使って(干菓子は手で)取ります。食べる時は懐紙ごと持ち上げ、主菓子は楊枝を使って一口ずつ(干菓子は手で)いただきます。一人一皿ずつ出てくるお菓子は、そのまま一礼して受け取りましょう。

お茶のいただき方

茶碗の正面を外して飲む

茶碗が自分の前に置かれたら一礼します。まず、上座の人との間に茶碗を置き「お相伴させていただきます」、次に下座の人との間に茶碗を置き「お先に頂戴いたします」、その後茶碗を自分の前に戻し、亭主に「お点前を頂戴いたします」とあいさつをします。右手で茶碗を左手に乗せ、茶碗を回して正面を外して数口で飲み切り、飲み口を指で拭きます。最後に、正面に戻して自分の前に置き、両手をつけて茶碗を拝見します。



①まずは両隣の人にきちんとあいさつをしましょう



③茶碗を回して正面を外してからいただきます



②亭主にあいさつをします。茶碗は自分の正面に



て まえ お点前で使う 主な茶道具

季節や趣向に応じて、亭主はさまざまな茶道具を揃えて客をもてなします。道具に注目することも、茶道の楽しみの一つです。



ふる かま
風炉・釜

お茶に使う水を沸かすための道具。特に風炉にはさまざまな材質・形状があります。



みずさし
水指

茶席で使う水を入れておく器です。釜に足すだけでなく、茶碗をすすぐときなどにもこの水を使います。



なつめ
棗

抹茶を入れる茶器の一つ。濃茶用、薄茶用にさまざまな道具がありますが、薄茶用の茶器を総称してこう呼ぶケースも多いようです。



ちやわん
茶碗

お茶を飲むための器。多くの種類があって、亭主は季節や趣向に合った茶碗を用意します。銘(名前)のついた高価な茶碗もあります。



ちやせん
茶筌

茶碗に入れた抹茶と湯を混ぜるための道具。ほとんどは竹製で、流派によって使う竹の種類や色が異なります。



けんすい
建水

茶碗を清めたり、温めたりしたときに使った水(湯)をここに捨てます。「こぼし」という別名もあります。



ちやきん
茶巾

茶碗を拭く布。通常は水に浸してあるものを使います。流派によって使い方やたたみ方に違いが見られます。



ひしゃく
柄杓

釜や水指から水をくむために使います。茶道では、一般的な柄杓とは大きさ、長さが異なる専用の柄杓を使います。



ちやしやく
茶杓

茶器から抹茶をすくって茶碗に入れるための道具です。重んじられる茶道具の一つで、中には銘がついているものもあります。



ふたおき
蓋置

釜の蓋や柄杓を置くために使われます。竹や金属、陶器でできたものなど、数多くの種類があります。

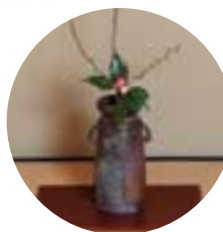
とこ 床にも注目、 掛物と花入

茶席でまず拝見する「床の間」は、亭主の心遣いに満ちています。



かけもの
掛物

床の間に飾る軸で、文字や絵画のものがあります。茶会のテーマや姿勢が表れるため、亭主がもっとも気を配るところです。



はないれ
花入

掛物と同じく床の間に飾られ、花とともに亭主が力を入れる部分の一つです。金属や陶器のほか、竹製、かご形などの種類があります。

石川県の茶会カレンダー

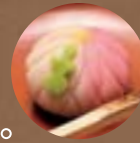


県・市町・茶道団体等が主催し、公共の施設またはそれに準ずる場所で開催され、会員等に限らず誰でも参加可能な茶会を掲載しています。

2022年4月～2023年3月

掲載されている茶会は、中止または内容が変更となる場合がありますので、おでかけ前にご確認ください。
(掲載のデータは2022年3月1日現在のものです。)

石川には、初心者も楽しめる茶会がたくさんあります。
気軽に足を運んでみましょう。



春・夏 (4～9月)

開催日／開催市町／会場／
料金／お問い合わせ先
※料金は原則として一席の料金です。

1 桜花茶会

4月10日(日)／【加賀市】／石川県九谷焼美術館／1,000円／☎0761-72-6366／NPO法人さろんど九谷(石川県九谷焼美術館内)

2 ふるさと館ふれあい茶会

4月10日(日)／【白山市】／松任ふるさと館／700円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

3 一般呈茶会

4月10日(日)／【能美市】／能美市根上学習センター「松海庵」／500円、小学生以下300円／☎0761-55-8560／能美市茶道協会

4 いしかわ・白山

風と緑の楽都音楽祭 2022 協賛事業 お茶会めぐり

4月24日(日)／【白山市】／松任ふるさと館、千代女の里俳句館／2席で1,200円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

5 第37回県民みどりの祭典 野点

4月29日(金・祝)／【津幡町】／石川県森林公園／無料／☎076-225-1641／石川県森林管理課

6 第47回銭五茶会

5月8日(日)／【金沢市】／石川県銭屋五兵衛記念館・銭五の館／1,000円(野点席のみ)、2,000円(本席・野点席)／☎076-267-7744／石川県銭屋五兵衛記念館

7 ふるさと館ふれあい茶会

5月8日(日)／【白山市】／松任ふるさと館／700円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

8 アカシアロマンチック祭 野点

5月22日(日)／【内灘町】／中国庭園／300円／☎076-286-6716／内灘町文化協会(内灘町教育委員会文化スポーツ課内)



8 アカシアロマンチック祭 野点

9 百万石茶会

6月4日(土)・5日(日)／【金沢市】／兼六園時雨亭およびその周辺7会場／1席1,500円(当日)／☎076-263-1151／金沢百万石まつり実行委員会百万石茶会部会(金沢商工会議所内)



9 百万石茶会

10 一般呈茶会

6月12日(日)／【能美市】／能美市根上学習センター「松海庵」／500円、小学生以下300円／☎0761-55-8560／能美市茶道協会

11 ふるさと館ふれあい茶会

6月12日(日)／【白山市】／松任ふるさと館／700円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

12 セ夕茶会

7月3日(日)／【白山市】／松任ふるさと館／700円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

13 緑陰の茶会

7月18日(月・祝)／【七尾市】／七尾市花嫁のれん館／500円／☎076-222-6273／茶道裏千家淡交会 石川学校茶道連絡協議会

14 百万石子ども茶会

7月24日(日)／【金沢市】／中村記念美術館旧中村邸／500円／☎070-2902-2326／表千家同門会石川県支部

15 白山薪能・納涼茶会

8月5日(金)／【白山市】／松任文化会館ピーノ／700円(要予約)／☎076-273-4280／白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)



17 全国学生大茶会

16 ひやくまんさんとお抹茶体験

8月6日(土) / 【金沢市】 / 金沢城公園「玉泉庵」
 / 730円(要予約) / ☎076-234-3800 / 金沢城・
 兼六園管理事務所



16 ひやくまんさんとお抹茶体験

17 全国学生大茶会2022

8月27日(土)・28日(日) / 【金沢市】 / 旧中村
 邸、松清庵など / 料金未定 / ☎076-220-2442 /
 全国学生大茶会実行委員会(金沢市文化政策課内)

18 月見の茶会

9月10日(土) / 【内灘町】 / 惜亭および隣接の
 和風庭園 / 500円 / ☎076-237-2273 / 内灘町
 茶道協会

19 月見茶会

9月11日(日) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 /
 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶
 道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

20 ふるさと館ふれあい茶会

9月18日(日) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 /
 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶
 道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

21 茶笑供養

9月25日(日) / 【能美市】 / 能美市辰口福祉会
 館 / 1,000円 / ☎0761-51-4511 / 能美市茶道
 協会



18 月見の茶会

秋・冬 (10~3月)

開催日 / 開催市町 / 会場 /
 料金 / お問い合わせ先
 ※料金は原則として一席の料金です。

22 金沢城・兼六園大茶会

10月8日(土)~10日(月・祝) / 【金沢市】 /
 兼六園時雨亭ほか / 3席3,000円(予定) / ☎076-
 260-3581 / 石川県茶道協会(北國新聞社事業
 部内)

23 ふるさと館ふれあい茶会

10月9日(日) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 /
 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶
 道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

24 加賀百万石文化めぐり 茶道教室

10月9日(日)・10日(月・祝) / 【金沢市】 / 石
 川県立能楽堂別館「対青軒」「犀庵」 / 800円 / ☎
 076-264-2598 / 石川県立能楽堂



24 加賀百万石文化めぐり茶道教室

25 七尾市民文化祭 茶会

10月30日(日) / 【七尾市】 / 矢田郷地区コミュ
 ニティセンター / 料金未定 / ☎0767-53-0596 /
 七尾市文化協会



25 七尾市民文化祭 茶会

26 寒雉の茶会

10月(未定) / 【穴水町】 / 住吉公民館 / 料金未
 定 / ☎0768-56-1231 / 能登中居鋳物保存会

27 第51回珠洲市文化祭 茶席

11月2日(水)・3日(木・祝) / 【珠洲市】 / ラ
 ポルトすず / 300円 / ☎0768-82-7826 / 珠洲市
 文化協会



27 珠洲市文化祭 茶席

28 第65回津幡町文化展覧会 茶会

11月3日(木・祝) / 【津幡町】 / 津幡町文化会
 館「グナス」深見亭 / 無料 / ☎076-288-8526 /
 津幡町文化協会、津幡町教育委員会



28 津幡町文化展覧会 茶会

29 羽咋市文化祭 茶会

11月3日(木・祝) / 【羽咋市】 / コスモアイル羽
 咋 / 無料 / ☎0767-22-9331 / 羽咋市教育委員
 会生涯学習課



29 羽咋市文化祭 茶会



31 小松市民茶会

30 市民茶会

11月3日(木・祝) / 【能美市】 / 能美市根上学習センター「松海庵」 / 500円、小学生以下300円 / ☎0761-55-8560 / 能美市茶道協会

31 第24回小松市民茶会

11月3日(木・祝) / 【小松市】 / 仙叟屋敷ならびに玄庵、小松市民ギャラリーフレ / 2席で1,500円(前売)、2,000円(当日)、高校生以下1,000円 / ☎0761-24-8130 / 小松市民茶会実行委員会

32 白山市市民お茶会

11月3日(木・祝) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 / 2席1,500円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

33 ふるさと館ふれあい茶会

11月13日(日) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 / 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

34 内灘町文化芸術祭 お茶席

11月13日(日) / 【内灘町】 / 内灘町文化会館 / 300円 / 076-286-6716 / 内灘町文化協会(内灘町教育委員会文化スポーツ課内)

35 第48回銭五茶会

11月20日(日) / 【金沢市】 / 銭五の館 / 1,500円(1席) / ☎076-267-7744 / 石川県銭屋五兵衛記念館



35 銭五茶会

36 能登町民文化祭 茶席

11月上旬 / 【能登町】 / 内浦総合運動公園 / 無料 / ☎0768-62-8537 / 能登町文化協会

37 中能登町文化まつり お茶会

11月(未定) / 【中能登町】 / 生涯学習センターラピア鹿島 / 無料~200円 / ☎0767-76-1900 / 中能登町文化まつり実行委員会

38 はじめての茶の湯体験

12月18日(日) / 【金沢市】 / 金沢21世紀美術館松清庵 / 500円 / ☎070-2902-2326 / 表千家同門会石川県支部

39 白山市の文化の祭典

12月18日(日) / 【白山市】 / 松任文化会館ピーノ / 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

40 雪見茶会

2月4日(土) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 / 700円(要予約) / ☎076-273-4280 / 白山市茶道協会(鶴来総合文化会館クレイン内)

41 花と緑ののいち椿まつり お茶席

3月18日(土)・19日(日) / 【野々市市】 / 野々市市文化会館フォルテ / 500円 / 花と緑ののいち椿まつり実行委員会



41 花と緑ののいち椿まつり お茶席

42 中村記念美術館 春の茶会

3月21日(火・祝) / 【金沢市】 / 中村記念美術館旧中村邸 / 1,200円 / ☎076-221-0751 / 中村記念美術館

43 学生茶会

3月21日(火・祝) / 【金沢市】 / 中村記念美術館旧中村邸 / 800円 / ☎070-2902-2326 / 表千家同門会石川県支部



43 学生茶会

44 第43回 津幡町椿展 茶会

3月26日(日) / 【津幡町】 / 津幡町文化会館シグナス「深見亭」 / 無料 / ☎076-288-8526 / 祐閑寺名月椿保存会、津幡町笠井公民館



白山エリア
雪だるままつり

茶の湯関連スポット

茶の湯が盛んな石川県には茶室はもちろん、関連の美術館、スポットがたくさんあります。「茶の湯をもっと知りたい」「時間がなくて茶会に行けなかった」という人はぜひ。

※掲載のデータは2022年3月1日現在のものです。
料金は変更になる場合がありますので、おでかけ前にご確認ください。
※茶会開催時は見学できません。

ちよと一服 石川県の茶道の歴史

茶の湯文化が盛んだった加賀藩

藩政期、加賀藩は文化振興に力を入れ、茶道も藩士から町民にまで広がりを見せました。初代藩主・前田利家(としいえ)は千利休から直接茶道を学び、3代藩主・前田利常(としつね)は各流派ゆかりの茶人を金沢に呼び、藩内での茶の湯文化を盛んにしました。それとともに、茶碗や釜といった茶道具、お菓子や料理、生花など、美術・工芸の分野も発展していったのです。加賀藩の財政的な豊かさや茶道に対する裾野の広さ、懐の深さが今日の県内における茶の湯隆盛の礎になっているといえるでしょう。

ちよと一服

長流亭

宝永6年(1709)、大聖寺藩3代藩主・前田利直(としなお)により建てられた茶室。小堀遠州の設計といわれ、華やかな付書院など独特の意匠が凝らされています。

☎0761-72-0551
加賀市大聖寺八間道55 見学は要予約
年末年始及び祭礼時(4月29日、9月25日他)
入館400円 10台



むげんあん

無限庵

明治末期の最高級の贅を尽した武家書院。書院では一日一組貸切で、椅子席で季節の料理と薄茶をいただきながら建物や器の話が聞ける茶懐石(要予約)を提供。併設のカフェもあり、漆や古美術を鑑賞し鶴仙溪を散策した後でも、気軽にお抹茶など楽しめます。

☎0761-78-0160 加賀市山中温泉下谷町口6
10時30分～16時 不定休(要問合せ)
入館500円(茶懐石1万5000円) 40台



せんそう やしき げんあん

仙叟屋敷ならびに玄庵

芦城(ろじょう)公園内にある、12畳半の茶室(仙叟屋敷)と小間の茶室(玄庵)。仙叟宗室居士没後300年を記念し、平成9年(1997)、裏千家により寄贈されました。

☎0761-24-8130
小松市丸の内公園町19 庭園は土・日曜の10～15時見学可(4～11月のみ。茶室使用時は見学不可、茶室内の見学は要予約) 見学無料 200台



げっしんじ

月心寺

慶安3年(1650)創建の曹洞宗の寺院。千仙叟宗室の墓があり、毎月命日の23日に月盆が行われます。「直心庵」「晚雲寺」「指月軒」の茶室があります(見学不可)。

☎076-251-0492
金沢市山の上町1-43
拝観は要予約
毎月22・23日 あり



金沢エリア

かなざわじょうこうえん ぎょくせんあん 金沢城公園 玉泉庵

江戸後期の姿を再現した玉泉庵丸庭園を一望しながら抹茶と上生菓子をいただくことができます。

☎076-221-5008
金沢市丸の内1-1(金沢城公園内)
9～12時、13時～16時30分(受付は～16時) 年末年始
抹茶730円(オリジナル上生菓子付き)
なし(近隣有料駐車場)



にしだ けていえん・ぎょくせんあん 西田家庭園・玉泉園

兼六園より120年古い庭園。裏千家仙叟宗室指導の金沢最古の茶室瀧雪亭(たいせつてい)も現存するほか、キリスタン灯籠や名石を配した飛石、躑躅(つばい)など、多くの見どころがあります。本庭は玉洞(ぎょくどう)様式で造られ、県指定名勝になっています。

☎076-221-0181 金沢市小將町8-3
9～17時(12月は～16時) 水曜(祝日の場合は直後の平日)、12月25日～2月末日
入園700円、抹茶800円～ なし



おおひびつつかん しゅういちだいおひちゅうざえもんかま 大樋美術館/十一代大樋長左衛門窯

約350年の歴史を有する大樋焼の歴代作品と茶道文化にふれる美術館。隈研吾氏の設計による大樋ギャラリーは、大樋陶治斎と当主十一代長左衛門の作品販売もしています。

☎076-221-2397 金沢市橋場町2-17
9～17時 無休(展示替え期間中は休館) 入館700円 1台



しょうどうあん 松涛庵

江戸末期に加賀藩12代藩主・前田斉泰(なりやす)が隠居所の居間として建築。江戸末期の風情を今に伝える貴重な建物です。椅子点前による立礼席もあります。

☎076-220-2800 金沢市広坂1-2-1(金沢21世紀美術館敷地内) 9～17時(茶会開催時は見学不可) 月曜(祝日の場合は翌平日、詳細はHPを確認)、年末年始
見学無料 322台



写真提供:金沢21世紀美術館 撮影:池田ひらく

かなざわ しりつなかむらき ねん びじゅつかん 金沢市立中村記念美術館

茶道具と工芸の美術館です。古九谷、加賀蒔絵などの工芸作品から、現代作家の作品まで幅広く収蔵。貸施設に「旧中村邸」、茶室「耕雲庵」などがあります。

☎076-221-0751 金沢市本多町3-2-29
9時30分～17時 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始、展示替期間 入館310円(茶葉350円) 20台



せんせんそうそうしつ こじてい ちあと 千仙叟宗室居士邸地跡

加賀前田家の茶道奉行として仕えた千仙叟宗室は千利休のひ孫で、裏千家の4代目です。その邸地跡には記念碑があり、一部は現在、裏千家稽古場「好古庵」になっています。

☎076-261-3602(好古庵)
金沢市大手町9-5
外観のみ見学可 なし



けんろくえん しぐれてい 兼六園 時雨亭

加賀前田家5代当主・前田綱紀(つなのり)が建てた蓮池御亭(れんちおちん)がルーツ。庭側の10畳と8畳に続いて1畳台目の「御園(おかこい)」と呼ばれる小さな茶室があります。

☎076-232-8841 金沢市兼六町1-5(兼六園内)
9～12時、13時～16時30分(受付は～16時)
年末年始 抹茶730円(オリジナル上生菓子付き)、煎茶310円(干菓子付き) ※兼六園入園料別途
なし(近隣有料駐車場)



石川県民文化スポーツ部文化振興課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1371 FAX 076-225-1496



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。